

平成 29 年度 第 2 回意見交換会実施記録

1. 実施結果

- ・開催日時 平成 30 年 2 月 16 日（金） 19 : 00 ~ 20 : 30
- ・会場 ロゼシアター 4 階第 1 会議室
- ・概要 新環境クリーンセンター循環啓発棟（修理再生エリア・余熱利用体験エリア）の基本設計に関する市民の意見聴取を行った。第 1 回意見交換の回答ならびに運営方法について検討を始めるためのさわりの情報提供を行った。前回同様、市民の意見をより多く引き出すためにワークシートやペアトクといった参加型の進行に加え、KP 法（紙芝居プレゼンテーション）により、説明内容の見える化を行った。最後に、市民独自で話し合いの機会を作りたいという呼びかけを進行が行った。
- ・出席者 市民 24 名、事業者 10 人（5 社）、富士市役所職員 5 人設計施工監理会社 1 人、進行 1 人
- ・進行 坂本竜児（NPO 法人エコデザイン市民社会フォーラム スタッフ）

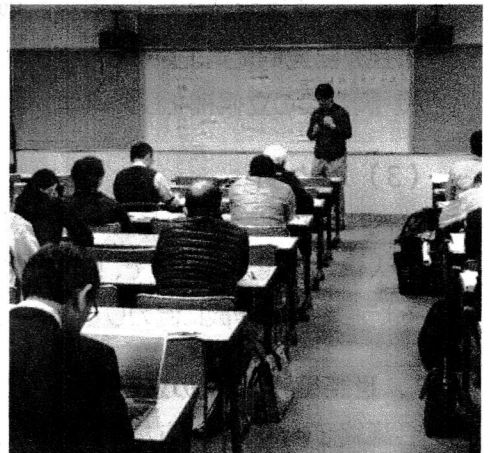
2. 内容

（1）現状の再確認

- ・エコットのような施設にしたいと思っているが、オープン時に実現したいなど何となく思っていることは下記の 3 点に集約できる。
 - ①自分の意見が取り入れられた施設ができる
 - ②市民が主役・活動している
 - ③たくさんの人が訪問してくる
- ・エコットのような施設と表現しているが前回のアンケートでは、行ったことある、聞いたことある、知らないが各 3 分の 1。したがって、共通イメージできていない。今日は他の運営体制も紹介したい。
- ・今回の意見交換は前回のみなさんの意見に対する回答や詳しい説明となる。これまでのプロセスで市の考えや市民の思いをくみ取って仕様を作っている。その仕様に基づいてプロポーザル方式で提案をうけて採択されたのが前回説明されたもの。今日の回答をもとに、詳細設計に入り工事・建設に進む。並行して運営方法についても詰めていかなければならない。
- ・建物に関することへの意見も大事だが、自分たちが案内する展示や運営方法を話し合う事が大事。最初は専門家（事業者）に作成してもらおうが先々は市民が更新し続けていくことになる。

（2）事前ワークと前回の意見に対する回答

- ・前回は、身近な施設（自宅、スーパーやデパート、公共施設など）から意見や質問を考えた。今回は自分が運営・活動する立場（事務局、ボランティア）に立って意見をもらいたい。
- ・基本設計の質問に対する回答説明（川崎重工担当者）
- ・質疑応答を行う。
質問：工場見学は自由にできる施設もある。食事場所は土足かスリッパか。



会議進行の様子

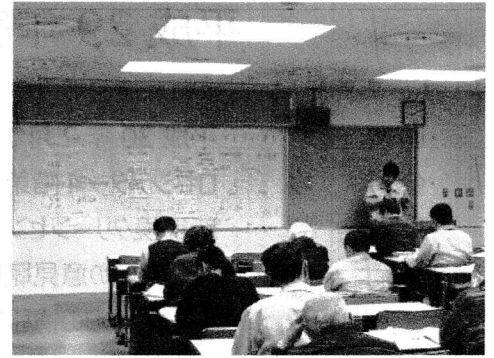


基本設計の意見への回答の様子

回答→詳細は今後検討していくこととし、ハード面で必要なことは設計で検討し、運営面で必要なことは運営を担いたい人と今後話し合っていく。

(3) 運営や今後の展開について

- ・建物より展示や運営について市民が検討していく必要がある。運営について、エコットのようなということで進んできたが、改めてどんなふうに進んだか説明をしたい。簡単だが指定管理優先権を持っているクリーン工場の事例も含め3つの施設の特徴を説明する。
- ・エコット、桜環境センター、ふじみ野市の運営主体、参加プロセス、運営体制等について紹介（進行、クリーン工房担当者）
- ・現状で想定している運営について市より説明（市担当者）
- ・市の説明に対する補足として、市に呼びかけられて集まり意見を言うだけではなく、市民が話し合う機会を作る必要がある。また集まった市民がどんな風にオープンまで活動していくか「活動計画」を作成する必要がある。運営の担う市民の育成や運営方法に対する意見聴取は市の役割としてサポートしたい。市民、企業、行政の協働で進めていきたい。
- ・市民が自発的に集まる機会を作りたい。名簿は市が持っているので、呼びかけ文章の作成や日程調整をする世話役・調整役の立候補をお願いしたい。できれば3～4人で。意見交換が終了した後に少し打合せの時間を持ちたい。



運営に関する説明の様子

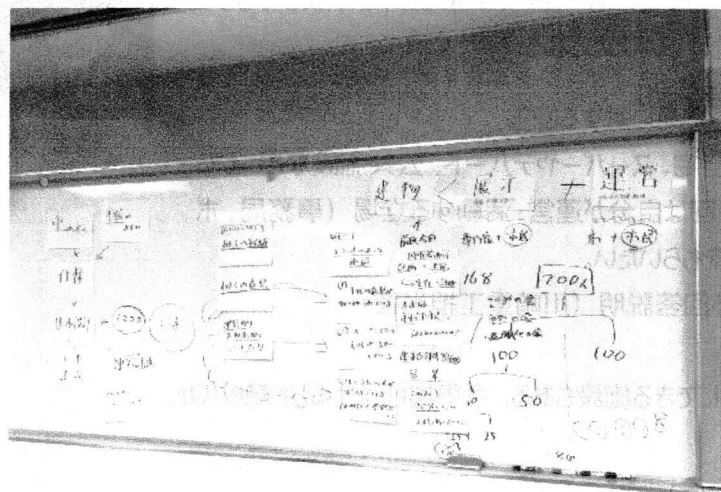
(3) アンケート

- ・オープンまでの活動や話し合いの機会に参加するかしないか、集まる時間帯等について意見を記入してください。最近、個人情報保護法の関係で、目的外で連絡先を扱うのは難しくなっている。今回、市と市民有志で連絡先を共有できるように名簿の作成に協力してください。

3. 世話役・調整役の立候補

- ・会議終了後、1名の方が立候補した。また、立候補された方より自然関係、温暖化関係で活動している人に働きかけてもらうこととなった。
- ・立候補された方には、①市民独自で集まる機会を呼びかける文章、②呼びかけ人の選出（3名程度）、③日程調整を坂本と行うことを依頼した。
- ・呼びかけ文章は坂本が確認し、今回提出してもらった名簿等をもとに郵送する。また、市民側でもメール等で積極的に告知を行う。

以上



KP法を活用した進行（説明内容を可視化）